

第26回 野の花文化賞 受賞者

れきし
きたひの歴史セミナー（越前市）



活動テーマ

北日野地区の歴史・文化の調査研究および住民への普及

活動内容等

- 公民館学級「総合ふるさと学級」の「古文書を読む会」で地区に残る古文書から歴史を学んでいたが、古文書は難解であることから、より親しみやすい会を目指して学級の内容を変更し「北日野の歴史に親しむ会」（現：「きたひの歴史セミナー」）に改名し現在の活動を開始した。
- 毎月第2火曜日に、地区の歴史や文化について調査研究を行っている。
- 地区の歴史・文化・習慣などをまとめた600ページに及ぶ冊子「きたひの探訪」を作成し、自治振興会との連携で発刊。町内、地区公民館、図書館、学校などに無料で配布を行うほか、希望者には販売した。
- 「きたひの探訪」は地域住民に広く活用され、地区外からも問い合わせがあるなど、地域の歴史や文化の普及に貢献している。
- 新幹線開業に合わせ北日野地区の名所旧跡を掲載した「KITAHINO見どころMAP」を作成するなど、地域活性化にも貢献している。
- 現在は絵馬の調査を行っており、その後は戦争体験の聞き取りなどを予定している。
- 今後も調査研究を継続することで、地域の歴史や文化の普及、継承に努めたい。また、冊子などの制作や語り部の活動を通じて、調査の成果を地域内外へ発信していくことで、地域の魅力の発掘、再発見につなげ地域を盛り上げていきたい。

第26回 野の花文化賞 受賞者

さいとう しんいち
齊藤 信一（福井市）



活動テーマ

「朝六ツ太鼓」の保存と継承

活動内容等

- かつて区内のあさむつ橋（枕草子や松尾芭蕉の句にも登場する橋）付近で貨物の陸揚げや船積みの際に太鼓が打たれていた。鉄道開通や戦争で一時途絶えたものの、戦後に有志により再興。
- 昭和54年に麻生津地区青少年育成会（現子ども会育成会）の文化部門で「朝六ツ太鼓」のクラブが立ち上がった際に、当時青少年育成会委員であり、「朝六ツ太鼓」会員であった齊藤氏が指導者として選ばれた。
- 「朝六ツ子供太鼓」クラブで45年にわたり、太鼓の技を子どもたちに指導し、これまでに約300人程度を送り出してきた。
- 過去にクラブに所属していた方の子どもたちが通い始めるなど、世代を超えた伝統の継承に貢献している。
- 現在クラブの所属者は11名。毎週1回の指導を行っている。また、地区体育祭や敬老会、お祭りなどでの発表を行っている。
- 今後も子どもたちへの「朝六ツ太鼓」の指導を通じて、地域への誇りと愛着を深めるとともに、イベントなどでの発表により「朝六ツ太鼓」の普及と魅力の発信に努めたい。

第26回 野の花文化賞 受賞者

ゆたかふじんふくしきょうぎかい

豊婦人福祉協議会（鯖江市）



活動テーマ

「豊むかしむかし」の紙芝居づくりと読み聞かせ活動

活動内容等

- ・ 約30数年前、協議会の会員が豊地区に昔から伝わる話をお年寄りから聞き取り、「豊むかしむかし（第1～4集全75話）」を発刊。その後、小学校で読み聞かせ活動を始めていたが、より興味関心を高めるために「紙芝居」を作り、小学校等で読み聞かせをしてはどうかという提案がなされ、会員手作りの紙芝居制作に取り組むことになった。
- ・ 平成24年に紙芝居づくりを開始し、翌年から豊小学校で読み聞かせを開始
- ・ 平成27年以降、要望に応じて小学校以外にも敬老会やこども園、高齢者サロンなど読み聞かせの範囲を拡大し、子どもから高齢者まで幅広い世代に向けて、地域に伝わる昔話を伝える活動に取り組んでいる。
- ・ 「豊むかしむかし」は小学校のふるさと学習に取り入れられ、昔話に登場する場所に実際に赴き、会員が子どもたちに昔話の説明を行う授業が行われるなど、活動が地域に根付いている。
- ・ 今後は新たな紙芝居づくりや「豊むかしむかし」の第5集発刊に向けての取り組みを進めるとともに、読み聞かせ活動を継続することで、地域の歴史と文化を後世に伝え、郷土愛の醸成に貢献したい。